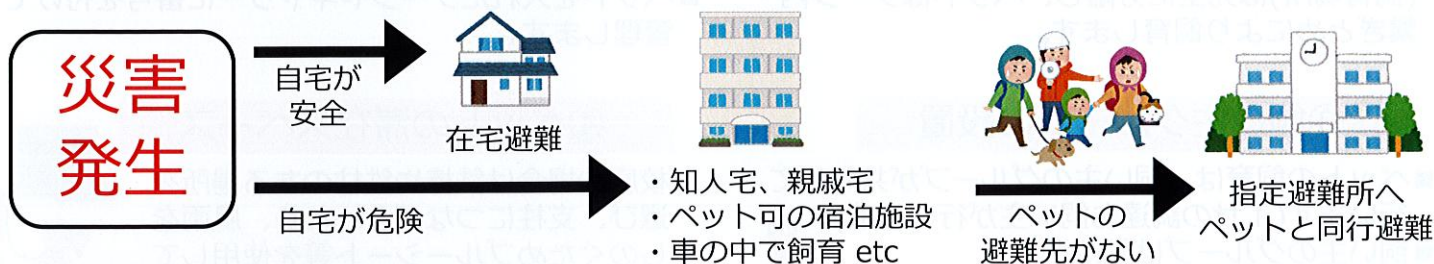


等々力防災Watch!

No.24

災害時に備えたペットの防災対策

災害時でもペットと在宅避難ができるよう、日頃からペット用の食料備蓄、健康管理やしつけ等に取り組むことが大切です。日頃から備えておくことや万が一の場面を想定した動きを確認しましょう。



日頃からの備え

①住まいや飼育場所の防災対策

- 家具やケージの固定、転倒防止、落下防止
- ケージなどペットの避難場所(隠れ場所)の確保
- 屋外飼育の場合は、飼育場所の安全確認(外塀やガラス窓の近くを避ける)



③ペットの健康管理

- 狂犬病予防接種(義務)に加え、各種ワクチンを接種する
- 犬フィラリアやノミ・ダニなどの寄生虫を予防、駆除する
- シャンプーやトリミングにより身体を清潔に保つ



⑤ペットのための防災用品

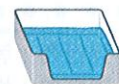
- 発災後しばらくは、人も動物も必要な物資が入手しにくくなります。また、避難所では人に対する備蓄物品は準備していますが、ペット用の備蓄品はありません。ペットに対する備えは基本的には飼い主が準備することになります。

- エサと水と容器(最低5日分、できれば7日分以上)



- トイレ用品

- (簡易トイレ、ペットシート、新聞、ビニール袋など)



- ペットの常備薬



- ケージ、引き綱(リード)



- ペットの写真や健康状況などの記録(愛犬手帳など)

②ペットのしつけ

- 人や他の動物を怖がらない
- ケージに嫌がらずに入る
- トイレは決められたところとする
- むだ吠えをさせない



- 避難所では、お互いに気持ちよく過ごせるようマナーを守りましょう。他人への迷惑となる行動を防止するとともに、ペット自身のストレスを軽減することにもつながります。



④迷子の防止

- 突然の災害でペットが驚いて逃げてしまったり、飼い主不在の時に災害が発生するなど、飼い主とペットが離れ離れになることも想定されます。



- ペットが飼い主の元に戻れるように、首輪に鑑札や名札など身元がわかるものをつけておきましょう。また、マイクロチップは、一度装着すれば半永久的に識別が可能であり、名札のように首輪から外れる心配も少ないなどの点で有効な方法です。



指定避難所へのペット同行避難

ペットとともに指定避難所へ避難するにあたってのルールをまとめてあります。等々力地区の指定避難所は等々力小、尾山台小、玉堤小、尾山台中の4ヶ所です。なお、等々力地区の犬の登録数は2,000頭を超え、人口は約4万人、世帯は約2万世帯です。お互いに気持ちよく過ごせるように事前にルールを確認しましょう。



①ペット受入れの条件

- 受入れ可能なペットは、犬・猫等の小動物（避難所に危険を及ぼさない動物等）です。
- 飼い主がケージやキャリー等を持参します。
- ペットの飼育・管理は飼い主が自主管理します。
- 避難者の滞在スペースとペットの滞在スペース（飼育場所）は完全に分離し、ペットはケージ内・繋ぎとめにより飼育します。



②登録簿への記入

- 避難所の受付で『避難所ペット登録カード』に必要事項を記入・提出します。なお、飼犬の登録を行っている場合は、マイクロチップ番号もしくは鑑札番号を記入します。
- ペットを入れたケージやキャリーに番号を付けて管理します。



③飼い主グループの設置

- ペットの飼育は、飼い主のグループが共同で行います（エサの調達も飼い主が行います）。
- 飼い主のグループは飼育場所や周辺の清掃を定期的に行います。
- 避難所運営本部とのペットに関する要望・相談の窓口として、飼い主のグループの代表者を事前に決めておきます。
- 飼い主のグループは、避難所内の飼育ルールを避難所に掲示するなど、ルールの周知徹底をします。



④ペットの滞在スペース

- 校庭の場合は鉄棒や鉄柱のある場所を選び、支柱につなぎとめたり、風雨をしのぐためブルーシート等を使用して雨よけを作ります。
- ペットの滞在スペース（飼育場所）は、鳴き声等が届かないよう極力、避難者の避難生活を送る場所から離れた場所にします。
- ペットの飼育に必要なケージやエサは、飼い主が用意します。
- ペット用トイレの場所は避難所運営本部が指定します。
- 季節の気温や天候によっては、温度管理の工夫が必要です。



各指定避難所でのペットの滞在スペース

等々力小	尾山台小	玉堤小	尾山台中
<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の南側の遊具周辺 ・体育館北側 ・北校舎の北側の非常階段の下 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の南西角地 ・南門付近の鉄棒の周辺 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の東側にある学習園の一部 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭東側のサッカーゴール

避難所運営訓練と防災塾のご報告

- 等々力地区では、毎年、地区内の4つの指定避難所（等々力小、尾山台小、玉堤小、尾山台中）での運営手順等の確認を町会ほか地域関係者、学校関係者の皆さんと行っています。令和7年度は、発災初動時の受付訓練、炊き出し訓練、バーナー・マンホールトイレ・発電機・応急給水栓の操作訓練に取り組みました。
- 『実災害を踏まえた避難所運営の在り方～これまでの被災地での避難所生活から考える～』というテーマで等々力地区防災塾を開催しました。参加者からは「有事の際の避難所の運営は、避難者を含めた地域住民一人ひとりの協力と自治能力が問われると感じた」などのお声をいただきました。



発行者：等々力地区区民防災会議
 事務局：世田谷区等々力まちづくりセンター
 （世田谷区等々力3-4-1 玉川総合支所内）
 TEL 03-3702-2143 FAX 03-3702-1165

「等々力防災 Watch！」は春と秋の年2回発行しております。

印刷費の一部には、等々力地区の古着・古布回収の売り払い金が充てられています。R8.3



令和8年3月31日

等々力地区社会福祉協議会は、地区内在住の方々がより安心して暮らすことができるよう住民が主体となって取り組んでいる組織です。

高齢者お楽しみ交流会を開催しました

1月23日(金)等々力地区会館にて、高齢者お楽しみ交流会を開催しました。

当日参加者の“投票”で選ばれた昔懐かしい映画を鑑賞しました。

鑑賞後は、美味しくコーヒーを飲みながら、等々力あんしんすこやかセンターからの地域情報のお知らせや、参加者同士でおしゃべりし、楽しい交流の時間となりました。

令和8年度も、等々力地区内で、高齢者お楽しみ交流会を開催予定です。



参加者の方から、交流が出来て楽しかった♪またぜひ企画してほしいとの感想をいただきました。



リバーひろばのご案内



毎月第1水曜日に玉堤地区会館で乳幼児親子や妊娠中の方を対象としたあそび場を開催しています。不定期でファミリーサポートアドバイザー、子育て支援コーディネーター、保健師なども在席する日程・時間もございます。

おしゃべりしながら、ほっと一息つきに来ませんか？



- 毎月第1(水) 10:00~11:30
- ☆すばなしの会(わらべうた・絵本)
- ☆ゲスト団体によるイベント♪
- ☆自由あそび、ご相談など




歳末たすけあい・地域支えあい募金へのご協力 ありがとうございました

ご賛同いただき募金をしてくださった皆さま、また募金を集める
ためにご尽力いただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。

等々力地区	2,529件	1,614,745円
-------	--------	------------

～なお、募金は地域・地区内の以下の使途に活用されます～

- ・支援を必要とする世帯へのお見舞金や入学祝金
 - ・在宅要介護高齢者介護者、在宅障害児(者)介護者への見舞金
 - ・サロン、ミニデイ等の支えあい活動、福祉団体への助成金などの地域福祉活動費
- 

まちのイベントで PR 活動を行っています

地区内のイベント等で、社会福祉協議
会の PR を行っています。

朝市農振会



等々力溪谷みかん狩り



200 名程の参加者に PR を行いました。

地区サポ募集

サロン、ミニデイや地域・施設での
イベントなどでちょっとしたお手伝いや
ボランティア活動をしてくださる
「地区サポーター」を募集しています。
ぜひお気軽にお問い合わせください♪

詳細は、世田谷区
社会福祉協議会の
ホームページを
ご確認ください。



発行：等々力地区社会福祉協議会

世田谷区等々力 3-4-1 玉川総合支所2階（等々力まちづくりセンター内）

社会福祉協議会等々力地区事務局 TEL:070-3946-9798 FAX:03-6733-8463

玉川地域社会福祉協議会事務所 TEL:03-3702-7777 FAX:03-3702-7861

世田谷区社会福祉協議会 <https://www.setagayashakyo.or.jp>

- 配信しています! 「メールマガジン」
右記の QR コードからご登録できます♪
- 地区ホームページ「せたがや福祉団体情報サイト」



メールマガジン



地区ホームページ



世田谷区社協キャラクター
ココロン

デング熱、ジカ熱などの感染症を媒介します

蚊の発生を 防ごう



空き缶・空きビン



防水シート

週に1度
蚊が卵を産むたまり水をなくすことで
蚊の発生を抑えられます。
地域全体で取り組むことが大切です。



雨ざらしの用具



植木鉢の受け皿

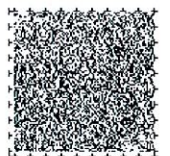


古タイヤ

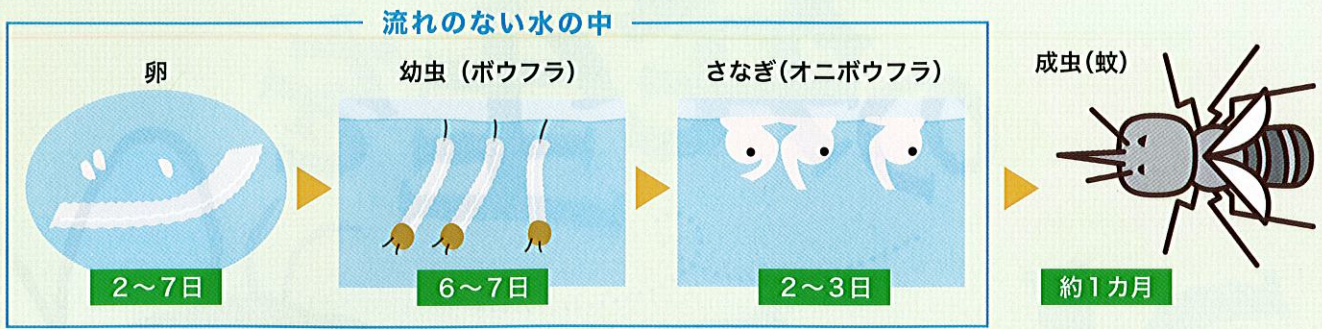
相談
窓口

世田谷保健所生活保健課生活環境衛生

TEL.03-5432-2903 FAX.03-5432-3054



ヒトスジシマカ的一生



夏場は条件が良ければ、卵から12日くらいで成虫になります。

成虫対策

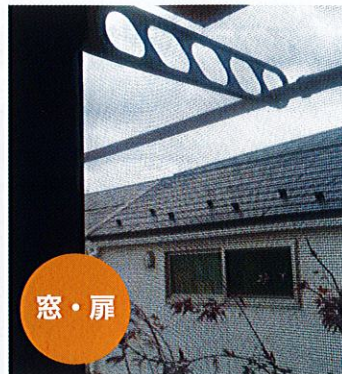
蚊に刺されないためには

- ▶蚊の多い場所に行く時は、長そで、長ズボンを着用しましょう。
- ▶皮膚が露出する部分には、虫よけ剤を使用しましょう（使用上の注意に従い、適切に使用してください）。
- ▶殺虫剤を使った成虫の駆除は、一時的な効果しかありません。環境への影響を考慮して、使いすぎに注意しましょう。

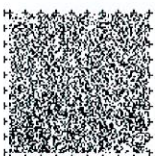
防除対策



定期的に^{せんてい}剪定、草刈りをし、風通しをよくしましょう。



扉の開閉はなるべく少なくし、網戸の破れ等は補修しましょう。



蚊の種類

ヒトスジシマカ

見た目の特徴

体色は黒色で、背中に一本の白縦筋と足の関節に白斑を持つ。

発生源

屋外に置かれた植木鉢の皿、空きビン、古タイヤなどのたまり水

活動時期と吸血活動

昼間に吸血する。やぶや草むらに生息し、待ち伏せて吸血する。活動範囲は、半径100m~150m。卵で越冬する。

媒介する感染症

デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、ウエストナイル熱など



アカイエカ

見た目の特徴

淡赤褐色

発生源

下水溝、雨水ます、排水溝など

活動時期と吸血活動

夜間に吸血する（夜寝ている時に耳元でぷーんと音がしたらアカイエカ）。

活動範囲は、数100m~数kmと広範囲。

成虫で越冬する。

媒介する感染症

ウエストナイル熱など

